

1 はじめに

平成 27 年 3 月で 68 年間の歴史に幕を閉じた岩戸中学校の跡地活用については、子どもから高齢者、障がい者まで含めた福祉施設として、一つは天岩戸保育園の移転改築案、その他にも町の実情と町民のニーズに合わせて町民が利用しやすい施設の検討を進めていくことが示され、実施計画案としても平成 30 年度をめどに旧校舎の解体、施設の設計、建設を進めていくとすることから関係者を含めた岩戸中学校跡地活用町民検討委員会（以下「検討委員会」という。）が福祉保険課を事務局として平成 28 年 7 月に設置されました。

検討委員会では、跡地活用に関する町民や福祉事業者へのアンケート調査を実施し、地域住民からの意見を募るとともに、これまで 7 回の検討委員会を開催し、福祉としての活用策について検討を行ってきました。

事務局からも跡地活用について提案がなされましたが、それらが岩戸地区および町全体にふさわしいものかどうか検討を重ねてきました。

これらの結果、跡地活用について基本的な考え方と活用を図る上で留意する点について、検討委員会としての意見をとりまとめましたので意見書として町に提出します。

今後、跡地活用を進めるにあたり、本意見書を十分尊重した上で、町民福祉の向上と町政課題の解決に向けた活用が実現することを期待します。

岩戸中学校跡地活用町民検討委員会
委員長 富高 友子